

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	コロナ感染症が広がる前は、ご家族、入居者様も一緒に、もしくは「家族会」開催に合わせた運営推進会議を実施していましたが、外部から人を入室させることに規制がかかり、すっかりご家族の声を吸い上げたり、報告することを忘れていました。以前のような運営推進会議に戻すべき努力をしていきたいと思えます。	グループホームは「地域密着型！」ですが、地域だけに留まらず、入居者様ご家族様の参加も含めたコロナ禍以前の状態に運営方法を徐々に戻していく。	毎月お便りをお送りしているので、その際に運営推進会議の参加への依頼や、文書での意見の収集を行った上で開催を実施する。また同様にお便りに会議の議事録を同封し、次の開催につなげる。	6ヶ月
2	14	現在、「虐待防止委員会」「身体拘束適正化委員会」の両委員会を3か月に一度開催している。その度にフロア会議で「不適切ケア」について確認しているが、やはり特定の職員からスピーチロックは無くなる。特定の職員は意識に乏しく、周りの職員も注意できない！	繰り返し、不適切ケアを学び、自分で気づくことが出来、スピーチロックが職場から無くなるようにしていきたい。	外部評価の指摘を受けて話し合い、まずスピーチロックを発し始めたら、職員を交代してケアを行うところから始めている。またどういった内容が周りの職員から見るとスピーチロックと感じるのか？スピーチロック語録集を作成し見えるところに貼りだして、対象職員の意識に根付かせたい。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月